

読書ボランティア活動に参加しませんか

「読み聞かせをしたい」「子どもにも本の楽しさを伝えたい」と思っている人はいませんか。

読書ボランティアは、市内のいろいろな場所で活躍し、子どもたちの読書活動の大きな力となっています。

ボランティアの主な取り組み 市の取り組み



プラットホーム
対象事業



市登録読み聞かせボランティア

市のイベントなどでの読み聞かせを行います。

ブックスタート

市内在住の赤ちゃんと保護者に対して読み聞かせを行います。

まどかぴあ図書館の取り組み

おはなしの会『わくわく』

幼児から小学生に対し、おはなし会を行っています。

おひびでだっこ

0〜2歳児に対し、おはなし会を行っています。

布の絵本製作の会『ちくちく』

布の絵本やエプロンシアターの製作をしています。

本のとびら(ブックトーク)
小学生や中学生に対し、テーマに沿ってさまざまな本を紹介します。

学校・地域の取り組み

小学校での読み聞かせ活動

朝の始業前や昼休みの時間を利用して行います。

地域貸出文庫

公民館・集会所で本の貸し出しや読み聞かせ活動、地域の伝承行事を通じた読書活動の普及などを行います。

ボランティア活動に参加するには

活動内容や参加条件などについては、市が発行している「読書ボランティアおさそいチラシ」を確認してください(チラシはコミュニティ文化課やまどかぴあで配布、または市ホームページからダウンロード)。

●問い合わせ先

◇市の活動

コミュニティ文化課文化政策担当
☎(580)19110

◇ブックスタート

こども未来課こども政策担当
☎(580)1912

◇図書館の活動

まどかぴあ図書館
☎(586)4010



あけてみよう！歴史のとびら 調査担当者が語る！大野城発掘物語

150

〈400年前の山田村(御笠の森遺跡)〉

山田2丁目に「御笠の森」と呼ばれる小さな森があります。この森は『日本書紀』や『万葉集』にも記された由緒ある場所として知られています。

御笠の森遺跡は、この森の周辺に広がる遺跡であり、私は平成13から15年に調査を担当しました。

発掘調査の結果、戦国時代から江戸時代初期の村が発見されましたが、驚いたのはその村の姿です。一つ一つの屋敷が大きな溝で囲まれ、これが集まって村を形作っていました。出土品の中には、火縄銃の弾丸も発見され、自力で村を守った戦国時代の人々の姿を感じることができました。

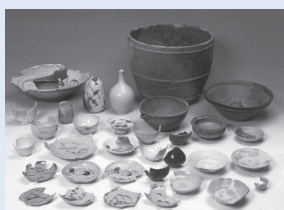
もう一つ興味深いのは、この村が古文書に登場することです。江戸時代に記された『筑前国統風土記』の中で、山田村(現在の山田区)はもともと御笠の森の近くに集落があったこと、江戸時代初期(1670年頃)に集落が別の場所に移ったことが書かれています。この古文書の内容と発掘調査の結果は、驚くほど一致していて、この遺跡こそ400年前の山田村であることが明らかになりました。

この遺跡を調査していたころ、私はまだ若く、大野城市に就職したばかりでした。経験も浅く、日々苦戦の連続でしたが、多くの人たちに支えられたことが思い出されます。暑い日も寒い日も一緒に働いていたいただいた近所の人など、本当に感謝しています。また発掘調査の騒音でお叱りを受けたこと、調査時に水道管を壊しご迷惑をおかけしたことなども、印象深い出来事です。

今でも御笠の森の近くを通ると、400年前の村の姿とともに、20年前に発掘調査を支えていただいた人たちの顔が思い浮かびます。

●問い合わせ先

ふるさと文化財課啓発・整備担当(心のふるさと館内)
☎(558)22006



出土品の一部